

令和元年度

組合教育委員会事務の点検及び評価報告書

(平成30年度対象)

令和元年12月

御坊市日高川町中学校組合教育委員会

はじめに

本組合では、「豊かな心を育む教育・文化のまちづくりに向けた教育の推進」を基本理念とし、学校・家庭・地域が一体となり、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育む教育の推進に努めています。

本報告書は、課題や今後の取組の方向性を明らかにし、効果的な教育行政の一層の推進を図るため、平成30年度に実施した事務事業について行った点検評価の結果をまとめたものです。

今後とも、教育行政の充実、推進に努めてまいりますので、皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和元年12月

御坊市日高川町中学校組合教育委員会

目次

点検・評価について	1
点検評価結果	5
事務事業評価調書	9
点検・評価を行う事務事業	10
1. 教育委員会の運営	11
2. 就学奨励事業	12
3. 学校健康管理事業	13
4. 部活動奨励事業	14
5. 学校図書整備事業	15
6. 学校施設整備事業	16
7. 情報教育環境整備事業	17
8. 学校備品整備事業	18

I 点検・評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき PDCA のマネジメントサイクルを確立すべく、平成20年度以降教育委員会が行った事務事業の点検評価（以下「評価等」という。）を実施し、教育委員会評価委員会の意見を受け、報告書としてまとめました。

1. 評価の対象

今回実施した評価の対象は、本組合教育委員会が主体となって平成29年度に実施した事業のうち主なもので、下記8事業です。

番号	事務事業の名称
1	教育委員会の運営
2	就学奨励事業
3	学校健康管理事業
4	部活動奨励事業
5	学校図書整備事業
6	学校施設整備事業
7	情報教育環境整備事業
8	学校備品整備事業

2. 評価等の方法

- (1) 各事務事業における評価項目を「必要性」、「効率性」、「有効性」及び「公平性・透明性」とし、それぞれについての分析並びに評価をし、課題や今後の対応等について検証を行いました。
- (2) 評価は4段階評価とし、それぞれの評価項目について下記のとおりとしました。

評価項目	4	3	2	1
必要性	必要性は高い	必要性はある	必要性は少ない	必要性はない
効率性	効率性は高い	効率的である	効率性は低い	効率的でない
有効性	効果は大きい	効果はある	効果はあまりない	効果はない
公平性 透明性	十分確保されている	確保されている	欠ける部分がある	確保できていない

(3) 「今後の方向性」については、「廃止・終了」、「休止」、「継続」、「拡大」及び「見直し」の5つの方向性で表しました。

(4) 評価等の際し、評価等の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方など5人で構成する教育委員会評価委員会で様々なご助言をいただきました。

なお、教育委員会評価委員会の委員は次の方々です。(50音順、敬省略)

氏 名	所 属 等
東 節子	学識経験者
芝 正人	学識経験者
戸根 一彦	学識経験者
中村 佳美	学識経験者
山本 尚	学識経験者

3. 評価等の結果

教育委員会の自己評価の結果は、次のとおりです。

□ 評価の判定別事務事業数

評 価	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
事業数		8		

□ 今後の方向性別事務事業数

方 向	廃止・終了	休 止	継 続	拡 大	見直し
事業数			8		

4. まとめ

本組合は、御坊市と日高川町が構成団体の一部事務組合であり、両市町の生徒数による按分により経費を負担しており、特異な予算で運営されている。

このような中、本年度の自己評価の判定においても、総合評価で全て「できている」と評価しました。

しかし、将来的な問題として、現時点で十分な対応ができていない事業であっても、両市町の財政面での状況によっては十分な予算が確保できなくなることも危惧される事業もあることから、今回の自己評価により明らかとなってきたそれぞれの事業の課題をもとに、事務事業の目的、必要性等を踏まえ、計画的な事業展開と、より効果的な手法の模索など常に問題意識を持って取り組んでいくことが重要であると考えます。

教育委員会としましては、依然として厳しい財政状況の中、生徒ニーズへの対応と教育課題の解消に向け、事務事業の優先度や緊急度等を勘案し、引き続き計画的、重点的な事業実施に努めなければならないと考えます。

点検評価結果

点検評価結果

【基本方針】

確かな学力の定着、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育む教育活動の推進に努めます。

学校施設の整備充実を図ることにより、子どもたちの学ぶ環境の充実に努めます。

【平成30年度の主な取組状況と判定及び今後の方向性】

1. 教育委員会の運営

○取組状況

年間3回の定例会と2回の臨時会を開催し、大成中学校の教育について協議した。また、組合長との連携を図り、教育施策に反映するため総合教育会議を開催した。

○判定及び今後の方向性

「できている」ため「継続」する。

2. 就学奨励事業

○取組状況

準要保護生徒31人、特別支援学級生徒4人に対して就学に必要な費用等を援助した。

○判定及び今後の方向性

「できている」ため「継続」する。

3. 学校健康管理事業

○取組状況

学校保健安全法、労働安全衛生法に基づく健康診断を実施し、併せてストレスチェックも行うなど教職員の健康管理を行った。また、生徒に対しては、結核検診を実施した。

○判定及び今後の方向性

「できている」ため「継続」する。

4. 部活動奨励事業

○取組状況

部活動推進のため、各部に補助金を出すとともに、また、大会（県、近畿、全国）出場生徒派遣補助を行った。

○判定及び今後の方向性

「できている」ため「継続」する。

5. 学校図書整備事業

○取組状況

読書活動の推進を図るため、学校図書館の整備充実を積極的に行った。

○判定及び今後の方向性

「できている」ため「継続」する。

6. **学校施設整備事業**

○取組状況

基準を満たしていないブロック塀の撤去を行い、また、学校の要望や必要性、緊急性を考慮しながら可能な限り施設の整備修繕を行った。

○判定及び今後の方向性

「できている」ため「継続」する。

7. **情報教育環境整備事業**

○取組状況

教育用コンピューターによる情報教育の実施と、情報教育機器の適正な維持管理に努めた。

○判定及び今後の方向性

「できている」ため「継続」する。

8. **学校備品整備事業**

○取組状況

老朽化等により不具合が生じている備品や使用教科用図書の変更等により必要となった備品の買い換えを行うとともに、生徒学習用の机と椅子、学校図書館の整備充実に努めた。

○判定及び今後の方向性

「できている」ため「継続」する。

以上、当該8事務事業については、教育環境の整備充実を図るため、これからも重要な施策であり、効率的かつ効果的な事務事業の実施に努めます。

【外部評価委員の意見】

1. **教育委員会の運営**

- ・日高川町への事務の一元化に伴い、日高川町のみならず御坊市の保護者の意見が十分反映されるよう教育委員会の運営に努められたい。

2. **就学奨励事業**

- ・奨励金については、できれば保護者へ振り込めるよう努められたい。

3. **学校健康管理事業**

- ・教職員の働き方改革が言われている中、校務支援システムを活用して、事務の効率化を図ってもらいたい。

4. **部活動奨励事業**

- ・専門外の部活動を指導する教職員がほとんどの中で負担も大きく、部活動外部指導員の配置を進めてもらいたい。

5. **学校図書整備事業**

- ・生徒の読書活動を推進するため、積極的に学校図書館の整備充実に努めてもらいたい。

6. **学校施設整備事業**

- ・築後40年以上の施設であり、生徒の学習環境を整える上でも、学校施設、特に技術科棟の改修を行ってもらいたい。

7. **情報教育環境整備事業**

- ・ICT機器を効果的に活用する等、情報教育の充実に努めてもらいたい。

○ **その他**

- ・警報が出された場合、大成中が避難所になっているが、避難所としての機能が十分でないように思う。トイレ、空調等、御坊市と連携の上、避難所としての施設整備を図ってもらいたい。

事務事業評価調書

点検・評価を行う事務事業

<組合教育委員会>

	事務事業名	事務事業の内容
1	教育委員会の運営	定例会・臨時会・学校訪問・研修会等への参加
2	就学奨励事業	学用品費・修学旅行費・医療費・給食費等の補助
3	学校健康管理事業	定期健康診断や生活習慣病予防検診等の実施
4	部活動奨励事業	学校における体育・文化の振興及び保護者負担の軽減
5	学校図書整備事業	学校図書館の整備
6	学校施設整備事業	老朽化等により不具合の生じた施設の改修等
7	情報教育推進事業	情報手段を活用した学習活動に応えるための情報機器及び学習環境の整備
8	学校備品整備事業	老朽化等により不具合の生じている備品及び使用教科用図書の変更等により必要となる備品の整備

事務事業名		教育委員会の運営		担当	教育課	
目的		教育行政について審議を行い、本組合の教育行政の具体的な施策の推進、充実を図る。				
事務事業の内容		教育委員会定例会及び臨時会の開催、学校訪問の実施、研修会・情報交換会等への参加				
根拠法令等		地方自治法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、御坊市日高川町中学校組合教育委員会会議規則				
事業コスト	区分	単位	28年度	29年度	30年度	特記事項
	決算(見込)額	千円	375	338	373	定例会＝学期に1回開催 (臨時会＝必要に応じて開催)
	うち一般財源	千円	375	338	373	
実績・成果	区分	単位	28年度	29年度	30年度	特記事項
	定例会・臨時会	回	4	6	5	総合教育会議(組合長との)＝1回
	学校訪問	回	2	2	1	
	委員会での審議件数	件	4	12	22	
	研修会等参加日数	日	2	2	1	
評価項目		評価	評価の主な観点等			
1	必要性	4	<ul style="list-style-type: none"> 住民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。 事務事業を本組合教育委員会が実施すべきか。 			
			評価に対する説明等 地方自治法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、御坊市日高川町中学校組合教育委員会会議規則で、教育委員会の設置の義務及び教育委員会が行うべき事務等について規定されている。			
2	効率性	4	評価の主な観点等 <ul style="list-style-type: none"> 事務は効率的に実施されているか。 コスト削減の工夫がなされているか。 			
			評価に対する説明等 御坊市日高川町教育委員会会議規則に則り運営されており、事務は効率的に実施されている。			
3	有効性	4	評価の主な観点等 <ul style="list-style-type: none"> 事業の目的に照らして効果的な手法か。 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。 			
			評価に対する説明等 施策や運営方針等の決定を行うという現在の会議の目的は、妥当であり、目的の実現に寄与している。			
4	公平性 透明性	3	評価の主な観点等 <ul style="list-style-type: none"> 事業の効果は公平に配分されているか。 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。 			
			評価に対する説明等 会議は、原則公開で実施しており、傍聴することができる。			
総合評価	判定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない				
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し				
判定理由、課題、今後の対応等		迅速な危機管理体制の構築、組合長との連携・強化を図るため、総合教育会議で共有できるよう努めていく。 事務の一元化に伴い、有効的に事務が実施できるよう、教育委員会運営に努めていく。				

事務事業名		就学奨励事業		担当	教育課	
目的		経済的理由により、就学困難な生徒に対し、必要な援助を行う。				
事務事業の内容		学用品費、修学旅行費、医療費、給食費等の補助				
根拠法令等		学校教育法、就学援助要綱				
事業コスト	区分	単位	28年度	29年度	30年度	特記事項
	決算(見込)額	千円	3,301	3,425	3,893	一部国補助 28年度= 0千円 29年度= 16千円 30年度= 112千円
	うち一般財源	千円	3,301	3,409	3,781	
実績・成果	区分	単位	28年度	29年度	30年度	特記事項
	準要保護生徒数	人	37	34	31	
	要保護生徒数	人	0	0	0	
	特別支援生徒数	人	0	1	4	
評価項目	評価	評価の主な観点等				
1	必要性	4	・ 住民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。			
			・ 事務事業を本組合教育委員会が実施すべきか。			
		評価に対する説明等				
		学校教育法により自治体の責務として明記されている。				
2	効率性	評価	評価の主な観点等			
		3	・ 事務は効率的に実施されているか。			
			・ コスト削減の工夫がなされているか。			
		評価に対する説明等				
学校からの随時の申請等効率的に事務処理されている。						
3	有効性	評価	評価の主な観点等			
		4	・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。			
			・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。			
		評価に対する説明等				
経済的理由により就学困難な生徒に対する就学援助は、有効な制度である。また、平成31年度入学生から入学前支給を実施。						
4	公平性 透明性	評価	評価の主な観点等			
		4	・ 事業の効果は公平に配分されているか。			
			・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。			
		評価に対する説明等				
学校を通じての周知を図ったり、町広報誌などを通じての周知を図っているが、今後も有効的な周知の方法等を検討していく。						
総合評価	判定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない				
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し				
	判定理由、課題、今後の対応等	他市町村の認定基準や支給額等の動向把握に努めながら、引き続き教育の充実が図れるよう就学奨励に努める。また、生徒に何らかの異動等があった場合、すみやかに保護者に説明を行い、申請漏れが生じないように努めていく。支給項目についても、国の動向も含め検討していく。				

事務事業名		学校健康管理事業			担当	教育課
目 的		健康診断の実施による生徒、教職員等の疾病の早期発見と健康の増進				
事務事業の内容		定期健康診断や生活習慣病予防検診等の実施				
根拠法令等		学校保健安全法、労働安全衛生法				
事業 コスト	区 分	単位	28年度	29年度	30年度	特 記 事 項
	決算(見込)額	千円	1,150	1,232	1,195	学校医報償 872,400円 薬剤師手当 40,200円
	うち一般財源	千円	1,150	1,232	1,195	生徒・教職員検診委託 282,412円
実績 ・ 成果	区 分	単位	28年度	29年度	30年度	特 記 事 項
	受診率(教職員)	%	100.0	100.0	100.0	ストレスチェックの実施推進
	結核受診率(教職員)	%	100.0	100.0	100.0	
	結核検診等受診生徒数	人	218	199	162	
	結核精密検診受診生徒数	人	0	0	0	
評価項目		評価	評価の主な観点等			
1	必 要 性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。 ・ 事務事業を本組合教育委員会が実施すべきか。 			
			評価に対する説明等 法により責務として明記されており、生徒や教職員の適切な健康管理を実施していくことにより健全かつ円滑な教育を確保するため必要な事業である。			
2	効 率 性	評価	評価の主な観点等			
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務は効率的に実施されているか。 ・ コスト削減の工夫がなされているか。 			
			評価に対する説明等 健診センター等に委託し、効率的に実施されている。			
3	有 効 性	評価	評価の主な観点等			
		4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。 ・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。 			
			評価に対する説明等 学校医による検診等、効果的な執行を実施している。			
4	公 平 性 透 明 性	評価	評価の主な観点等			
		4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効果は公平に配分されているか。 ・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。 			
			評価に対する説明等 健康診断の実施は義務であり、すべての職員、生徒に対して実施。			
総合 評価	判 定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない				
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し				
	判定理由、課題、今後の対応等	生徒・教職員の疾病の早期発見と健康の増進に努める。教職員が受診しやすい環境を維持するとともに、40歳以上の生活習慣病等に関わる特定健診の受診啓発に引き続き努めていく。また、ストレスチェック後の集団分析や面接指導体制の充実に努めていく。教職員の働き方改革の一つとして校務支援システムの充実に努めていく。				

事務事業名		部活動奨励事業			担当	教育課
目的		学校における体育・文化の振興及び保護者負担の軽減				
事務事業の内容		日常の部活動や各種大会への参加に対する補助				
根拠法令等		各種スポーツ競技大会生徒派遣補助金交付要綱				
事業コスト	区分	単位	28年度	29年度	30年度	特記事項
	決算(見込)額	千円	2,411	2,446	2,410	生徒派遣費補助金 1,730千円 部活動費補助金 680千円
	うち一般財源	千円	2,411	2,446	2,410	
実績・成果	区分	単位	28年度	29年度	30年度	特記事項
	クラブ数	部	7	7	7	(スポーツ)野球部・陸上競技部・卓球部・バレー部・ソフトテニス部・駅伝部・水泳部
	全国大会出場部数	部	1	1	1	(出場部)陸上部
	近畿大会出場部数	部	2	2	2	(出場部)バレー部・陸上競技部
評価項目		評価	評価の主な観点等			
1	必要性	4	・ 住民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。			
			・ 事務事業を本組合教育委員会が実施すべきか。			
		評価に対する説明等				
		部活動の有効性は学習指導要領でも示されているところであり、こうした運動活動や文化活動を通じ、生徒の資質・能力及び個性の伸長を図ることは必要である。				
2	効率性	評価	評価の主な観点等			
		4	・ 事務は効率的に実施されているか。			
			・ コスト削減の工夫がなされているか。			
		評価に対する説明等				
部活動運営の振興のみならず、保護者の経済的負担の軽減に寄与している。						
3	有効性	評価	評価の主な観点等			
		4	・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。			
			・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。			
		評価に対する説明等				
県・近畿・全国大会等への出場には、相当額の交通費や宿泊費を必要とするが、本事業により各家庭の経済的負担を軽減できることから、生徒が安心して部活動に取り組むことができる。						
4	公平性 透明性	評価	評価の主な観点等			
		4	・ 事業の効果は公平に配分されているか。			
			・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。			
		評価に対する説明等				
学校内で充分検討の上、どの部活動にも効果的に配分実施されている。						
総合評価	判定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない				
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し				
	判定理由、課題、今後の対応等	学校における文化・体育活動の振興・充実及び保護者の経済的な負担軽減はもとより、生涯を通じて主体的に体育・文化活動に親しんでいこうとする意欲や態度の育成に努めている。				

事務事業名		学校図書整備事業			担当	教育課
目 的		図書に親しみ読書の習慣づくりを推進するとともに、学力の向上を図る。				
事務事業の内容		学校図書館の整備				
根拠法令等		学校図書館法				
事業 コスト	区 分	単位	28年度	29年度	30年度	特 記 事 項
	決算(見込)額	千円	365	408	468	
	うち一般財源	千円	365	408	468	
実績 ・ 成果	区 分	単位	28年度	29年度	30年度	特 記 事 項
	図書購入数	冊	284	184	144	蔵書数 H28 9,365冊 H29 9,361冊 H30 8,794冊
	標準蔵書数	冊	9,600	8,480	9,040	
	達成率	%	97.6	110.4	97.3	
評価項目		評価	評価の主な観点等			
1	必要性	4	・ 住民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。			
			・ 事務事業を本組合教育委員会が実施すべきか。			
		評価に対する説明等				
全国学力学習状況調査等の結果から、「読む能力」の低下が指摘されている中、読書活動の推進が求められており、そのため学校図書館の充実が急務である。						
2	効 率 性	評価	評価の主な観点等			
		3	・ 事務は効率的に実施されているか。			
			・ コスト削減の工夫がなされているか。			
		評価に対する説明等				
平成21年度から23年度までに寄付や集中的な予算措置によって標準蔵書数を達成したが、今後生じてくる落丁等による廃棄図書の補充等について、計画的な整備を進めていく必要がある。						
3	有 効 性	評価	評価の主な観点等			
		4	・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。			
			・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。			
		評価に対する説明等				
本事業の目的達成には、学校図書の整備・充実が何よりも効果をもたらすものであり、生徒の学力向上等に寄与していると考ええる。						
4	公 平 性 透 明 性	評価	評価の主な観点等			
		4	・ 事業の効果は公平に配分されているか。			
			・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。			
		評価に対する説明等				
御坊市及び中学校組合双方の予算に照らし合わせて予算配当を行っており、公平性、透明性は保たれていると考ええる。						
総合 評価	判 定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない				
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し				
	判定理由、課題、今後の対応等	生徒の読書活動の推進を図るため、学校図書館の整備充実に積極的に努めていく。				

事務事業名		学校施設整備事業		担当	教育課	
目的		校舎等の整備を行うことにより、教育環境の向上と学習意欲の高揚を図る。				
事務事業の内容		老朽化等により不具合の生じた施設の改修等				
根拠法令等		義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律				
事業コスト	区分	単位	28年度	29年度	30年度	特記事項
	決算(見込)額	千円	1,827	1,427	8,776	大阪でのブロック塀倒壊事故や地震による天井落下等もあり30年度の費用が高額となった。
	うち一般財源	千円	1,827	1,427	6,566	ブロック塀解体、体育館控え室天井修繕、体育館引き戸修繕 外17件
実績・成果	区分	単位	29年度	29年度	30年度	特記事項
	修繕等件数	件	18	22	18	
評価項目		評価	評価の主な観点等			
1	必要性	4	<ul style="list-style-type: none"> 住民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。 事務事業を本組合教育委員会が実施すべきか。 			
		評価に対する説明等				
		施設を適正に維持・管理し、生徒が快適な学校生活を送っていくために必要な事業である。				
2	効率性	評価	評価の主な観点等			
		3	<ul style="list-style-type: none"> 事務は効率的に実施されているか。 コスト削減の工夫がなされているか。 			
		評価に対する説明等				
		施設の劣化は一律ではないため、その都度必要性を判断している。				
3	有効性	評価	評価の主な観点等			
		4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の目的に照らして効果的な手法か。 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。 			
		評価に対する説明等				
		長期的な大規模改修とは別に、既存施設を維持管理をしていく事業であり、緊急性や必要性を考慮しながら実施されており、有効であると考える。				
4	公平性 透明性	評価	評価の主な観点等			
		4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の効果は公平に配分されているか。 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。 			
		評価に対する説明等				
		学校施設の設置は地方公共団体の役割であり、本校を管理するために組合を構成する御坊市及び日高川町がそれぞれ経費を負担しており、公平な事業といえる。				
総合評価	判定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない				
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し				
	判定理由、課題、今後の対応等	築40年が経過し老朽化してきているが、施設の環境整備を積極的に進めて行く。整備に当たっては、学校の意見も聞きながら緊急性や必要性を考慮しながら積極的に予算の確保に努めていく。				

事務事業名		情報教育環境整備事業			担当	教育課
目的		コンピュータによる授業の充実を図り、生徒の学力及び情報処理能力の向上を図る。				
事務事業の内容		情報手段を活用した学習活動に応えるための情報機器及び学習環境の整備				
根拠法令等		学習指導要領				
事業コスト	区分	単位	28年度	29年度	30年度	特記事項
	決算(見込)額	千円	6,149	6,149	4,011	
	うち一般財源	千円	6,149	6,149	4,011	
実績・成果	区分	単位	28年度	29年度	30年度	特記事項
	教師用PC配備率	%	100.0	100.0	100.0	
	校内LAN整備率	%	100.0	100.0	100.0	
評価項目		評価	評価の主な観点等			
1	必要性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。 ・ 事務事業を本組合教育委員会が実施すべきか。 			
			評価に対する説明等 日進月歩の高度情報化社会で、将来を担う生徒の情報活用能力の向上には欠かすことのできない重要な教育であり、その必要性は大変大きなものがある。			
2	効率性	評価	評価の主な観点等			
		4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務は効率的に実施されているか。 ・ コスト削減の工夫がなされているか。 			
		評価に対する説明等				
		コンピュータ機器等の導入については、レンタルとし競争入札制を導入することとしているが、業者選定の公平性を確保するための事務手続きに手間を要している。				
3	有効性	評価	評価の主な観点等			
		4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。 ・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。 			
		評価に対する説明等				
		学校教育を推進するためには必要な事業であり、文部科学省の学校教育における情報化推進政策に沿った事業である。				
4	公平性 透明性	評価	評価の主な観点等			
		4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効果は公平に配分されているか。 ・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。 			
		評価に対する説明等				
		機器等の導入にあたっては、できるだけ学校の要望を聞くとともに、業者選定にあたっては実績を有する業者による競争入札制を採っている。				
総合評価	判定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない				
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し				
	判定理由、課題、今後の対応等	プログラミング教育の充実を図るため、さらに情報教育の環境整備とICT教育の推進に努めていく。				

事務事業名		学校備品整備事業			担当	教育課
目的		備品の整備・充実を図ることにより、生徒の教育環境の向上と学習意欲の高揚を図る。				
事務事業の内容		老朽化等により不具合が生じている備品及び使用教科用図書の変更等により必要となる備品の整備				
根拠法令等		学校教育法				
事業コスト	区分	単位	28年度	29年度	30年度	特記事項 (H30 主な備品購入) スタンダードスクリーン、教室用テレビモニタ、生徒用机・椅子、防球ネット
	決算(見込)額	千円	1,521	1,634	1,798	
	うち一般財源	千円	1,521	1,634	1,798	
実績・成果	区分	単位	28年度	29年度	30年度	特記事項
評価項目		評価	評価の主な観点等			
1	必要性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。 ・ 事務事業を本組合教育委員会が実施すべきか。 			
			評価に対する説明等 より良い教育環境を整備し、生徒の学力向上を図るためには、学校の備品の整備は必要不可欠である。			
2	効率性	評価	評価の主な観点等			
		4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務は効率的に実施されているか。 ・ コスト削減の工夫がなされているか。 			
		評価に対する説明等				
		学校担当者からのヒアリングを実施し、内容を精査したうえで予算措置を行っている。予算執行においても、その都度、その内容についての必要性等を精査のうえ適正な価格での購入を行うようにしている。				
3	有効性	評価	評価の主な観点等			
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。 ・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。 			
		評価に対する説明等				
		学習指導の効率化により生徒の学力向上を図るための手段として、その効果は大きい。また、より良い教育環境の整備には有効である。				
4	公平性 透明性	評価	評価の主な観点等			
		4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効果は公平に配分されているか。 ・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。 			
		評価に対する説明等				
		学校の意見を精査し、また御坊市並びに日高川町の状況も勘案のうえ、必要性が高いと認められるものから整備を行っている。また、予算執行に当たっては公平性を確保し、また透明性を高めるよう努めている。				
総合評価	判定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない				
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し				
	判定理由、課題、今後の対応等	新しい学習指導要領に即した学校備品を精査し、整備充実に努めていく。				